

【2023年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表年月	2024年2月	事業所名	ハッピーライフあさひ
------	---------	------	------------

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		運動遊びが十分に行えるように広さを確保し、児童が安全に活動できるよう利用定員を順守している。	
	2 職員の配置数は適切である	○		運動遊びが十分に行えるように広さを確保し、児童が安全に活動できるよう利用定員を順守している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		絵カードや番号、スケジュール表などを設置してわかりやすいように日々努力している。	入口にスロープがついていないため、車いすでの来所は少し難しい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の朝礼や終礼で常に話し合いを行い、変化を持たせ、振り返りを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		意見を真摯に受け止め、職員間で支援の向上を図って話し合っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		毎年アンケートを行っています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修の機会があります。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一度のペースで保護者面談を行い、意見交換をしながら作成している。	
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		規定のものを使っています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子どもの成長や経験につなげていけるようにチーム全体で考え、決定しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		新しい経験を目指して少し難しいチャレンジも行えるように考えています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		その日の活動時間に合わせて新しい経験を提供できるように、季節の行事も織り交ぜながら考えています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動で集中できる時間やスタッフと一対一で楽しめる時間と共に集団遊びの時間を設けてスタッフや友達とかかわりを持って活動ができるように努めています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼にて人数確認とともに流れを確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼にて話し合いを行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		必ず一人一人記録を書いています。支援についてなにかあったときはその都度話し合いをしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		職員間で話し合いながら支援について日々検討し、判断しています。	
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		色々な活動を組み合わせ支援しています。	
	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主に児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に情報交換を行い、必要であればその都度連絡を取り合っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在は利用がないが、契約時に確認し連絡調整を行っていきたい。
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要であればその都度連絡調整を行っている。		
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		情報交換を行い、スムーズに移行できるよう努めている。		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25		○		受けていない。
	26		○		外遊び等でかかわる機会があるが、ほかの施設との連携は行えていない。今後、交流をしていきたいと思っている。
	27		○		積極的な参加はできていない。
	28	○			送迎時の情報交換や面談を通して情報交換を行っている。
	29		○		ご家族に寄り添う支援を意識しているが、ペアレント・トレーニング等の支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	○			契約時に行っている。
	31	○			ご相談を受けたことに対して真摯に受け止め、適切な助言と一緒に考えていけるよう意識している。
	32	○			事業所で保護者が集まれる機会を設けました。始めたばかりなので、今後も続けていきたいと思う。
	33	○			窓口を設置すると共に、相手の思いを真摯に受け止め、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。
	34	○			定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。
	35	○			職員一人一人が意識して注意している。
36	○			その日に起きたことや些細な変化もすべてお伝えできるように努めている。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37		○		積極的にには行えていないが、今後も行っていきたい。
	38	○			マニュアルを作成しており、訓練も随時行っている。
	39	○			訓練を随時行っている。
	40	○			虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。
	41	○			保護者説明を行い同意を得たうえで、やむを得ない身体拘束を行った場合には記録をしている。
42	○			指示書がある場合はその対応をしている。家庭での対処方法を聞き、保護者情報交換をしながら行っている。	
43	○			終礼の時に話し合い、ヒヤリハットだと思われる事象に対して記入している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。